



さきがける

科学人

Vol.44

アート
の力
で
研究
理解
を
促
進



S a t o A k i k o

佐藤 暁子

東京大学生産技術研究所
特任研究員
ERATO竹内バイオ融合プロジェクト
研究推進員

Profile

静岡県出身。女子美術大学芸術学部デザイン科卒業後、デザインプロダクションでCGデザイナーとして勤務。その後、女子美術大学メディアアート学科助手を経て、現在非常勤講師。2010年より、現職。趣味は旅行、琉球舞踊、二胡。

きっかけは電気で動く昆虫の脚

小学生の頃は立体折り紙にはまりました。中学は美術部に、高校は芸術の専門コースに進み、美術大学に進学。特にコンピューターグラフィクスに興味を持ちました。卒業後はテレビ映像の制作や大学の研究室での仕事を中心でした。

転機は、本郷三丁目の駅でポスターを目にして、竹内昌治先生の講演にフラリと参加したこと。テーマの『バイオメディアアート』は、メディアアート学科で助手をしていた私にとって、初耳だったのです。

映像があまりにも衝撃的でした。マッチ箱大のダンボール製の体に昆虫の脚がついていて、人工的に電気を流して筋肉を動かすというもの。生体を部材にして工学的に動かす、というテーマは今も竹内研究室の十八番ですが、「こんな奇想天外なことを真面目に研究している人がいるなんて」と、強烈なインパクトを受けました。

一面識もなかった竹内先生の研究室に作品持参で乗り込み、「ご一緒に何かできませんか?」とお願いしました。前例はなくとも、先生が積極的に学内外に働きかけ、半年後、研究室に所属できました。

研究を独自の表現で描く仕事

科学とは無縁のアートの世界から飛びこんだため、戸惑いの連続でした。先生やスタッフの話し言葉がまったくわかりません。プロの集団の中にたった1人素人が迷い込んだわけですから、厳しい視線にさらされることも。しかし、「私は研究者と同じになる必要はない。積極的に対話して独自の表現を生み出せばいい」と割り切るようになりました。

まず、研究者に下絵を描いてもらいな

ERATO竹内バイオ融合プロジェクト 研究内容をグラフィクスで表現

科学の研究論文や成果発表にはイラストや図表が欠かせません。研究者の頭の中に描かれるイメージを視覚化することは研究の内容を理解するために必要ですし、論文掲載誌の表紙を飾るビジュアルは論文に興味を持ってもらうために重要です。動画を交えて研究成果を発表することも一般的になっています。科学研究の現場でのデザイナーの役割は、今後ますます重要になっていきます。



世界遺産のカパドキアで気球ツアーに参加、奇岩群を見下ろす上空からの景観は迫力満点でした。

ら説明を聞きます。次に自分でラフを起こし、「もっと色がほしい」とか、「もっと立体的に」などの注文を聞いて修正を加えます。理解できたと思ったら、「あ、やっぱりここがわからない」ということが出てきて聞き直す。その繰り返しです。専属のデザイナーとして、外部の研究者も揃う発表の場に立ち会う経験は、依頼が来たときのスムーズなコミュニケーションに役立ちます。

研究をわかりやすく、かつ事実に沿ってビジュアルとして見せるにはどうすればいいか、悩みながら論文用の図を描いたり、動画を作ったりの試行錯誤で5年が経ちました。「あなたのおかげでわかりやすくなったよ。ありがとう」と言われると、認めてもらえたと嬉しくなります。

研究は多くの方の支援を受けて進めるものなので、内容を一般の人に理解していただくことが重要です。アメリカでは研究アートを教える専門の大学があるほど、科学専門のデザイナーの重要性は認識されています。一方で、日本でデザイナーが研究室に属している例は稀有です。私に続き、美大生が最先端の研究室で活躍してくれると心強いですね。アートに科学が入り込むことで、アートの世界にも新しい価値が生まれることを、身をもって感じています。研究者向けにイラストのテクニックをお伝えする活動もしています。過去2回のセミナーは満員でした。研究活動に従事していなくても、科学の発展に貢献する方法を、これからも模索していきます。

TEXT: SHIGS PHOTO: 櫻井逸生

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

270
古紙/パルプ配合率70%再生紙を使用

JSTnews

December 2015

発行日/平成27年12月1日
編集発行/国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 総務部広報課
〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ
電話/03-5214-8404 FAX/03-5214-8432
E-mail/jstnews@jst.go.jp ホームページ/http://www.jst.go.jp
JST news/http://www.jst.go.jp/pr/jst-news/



最新号・バックナンバー